2025年度森林総合研究所公開講演会

2050年の森

人口減少社会において森林の果たす役割とは

森林総合研究所は、森林の多面的機能を十分に発揮し、社会の要請に応えるための研究開発の方向性と達成目標を示したロードマップを作成し、“2050年の日本の森のあるべき姿”を描いて、「2050年の森」として2008年に公表しました。しかし、2050年がせまってきた今、森林を取り巻く情勢は急速に変わりつつあります。人口減少が想定される日本における2050年の森林の姿とは?求められる森林の機能とは?我々が目指す研究とは?などを再び検討し、ご紹介したいと思います。

令和7年

10月15日(水)

13:30～16:30

(13:00 受付開始)

【会場】**ノバホール**

つくば市吾妻1-10-1

参加無料
事前申込み制

プログラム

講 演

■2050年の社会・環境
石塚 成宏　研究リスク管理監

■気候変動と生物多様性
大橋 春香　野生動物研究領域 主任研究員

■森林と林業
田中 真哉　森林管理研究領域 主任研究員

■木材産業と木材利用
松村 ゆかり　木材加工・特性研究領域 木材機械加工研究室長

■林木育種
岩泉 正和　林木育種センター関西育種場育種課育種研究室長
坪村 美代子　林木育種センター育種部育種第二課育種研究室長

ポスター発表

■「森林産業実用化カタログ2025」より主要成果を発表

詳しい情報はこちらから　https://www.ffpri.go.jp/event/2025/20251015ffprilec/index.html

【主催】国立研究開発法人 森林研究・整備機構 120th 森林総合研究所 Forestry and Forest Products Research Institute

【後援】林野庁

参加登録はこちらから　申込みフォーム

【お問い合わせ先】
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部広報普及科
茨城県つくば市松の里1　TEL.029-829-8372　FAX.029-873-0844　E-mail:kouho@ffpri.go.jp

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。